



2021 世界遺産

北海道・北東北の縄文遺跡群

令和3年（2021年）7月27日に、函館市の垣ノ島遺跡と大船遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されることが正式に決定いたしました。

■世界遺産とは

世界遺産とは、地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない宝物です。現在を生きる世界中の人々が過去から引き継ぎ、未来へと伝えていかなければならない人類共通の遺産です。

1972年（昭和47年）、ユネスコ（国際連合教育科学機関）総会で世界遺産条約が採択されました。この条約は、文化遺産や自然遺産を人類全体のための世界遺産として、損傷、破壊等の脅威から保護し、保存していくために、国際的な協力および援助の体制を確立することを目的としたもので、日本は1992年（平成4年）に条約を締結しました。

これまでに登録された世界遺産は、エジプトのピラミッドなど1,154件あり、日本では「法隆寺」「姫路城」などの文化遺産と「知床」「屋久島」などの自然遺産を合わせた25件が登録されています。（2021年7月末現在）

■世界遺産登録までの軌跡

- 2002年 北海道・北東北知事サミットにおいて「北の縄文文化回廊づくり」を提起
- 2007年 北海道・北東北知事サミットで縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた共同提案について正式合意
「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録についての提案書を国へ提出
- 2009年 世界遺産暫定一覧表に記載される
- 2009年 縄文遺跡群世界遺産登録推進本部等を設置し、推薦書作成作業開始
- 2019年 閣議において、推薦書をユネスコへ提出することが了解
- 2020年 政府が「北海道・北東北の縄文遺跡群」の推薦書をユネスコへ提出
- 2020年 イコモス（国際記念物遺跡会議）の現地調査実施（9月4日～15日）
- 2021年 イコモスより、「記載」が適当との勧告（5月26日）
- 2021年 ユネスコ世界遺産委員会で登録が正式決定（7月27日）

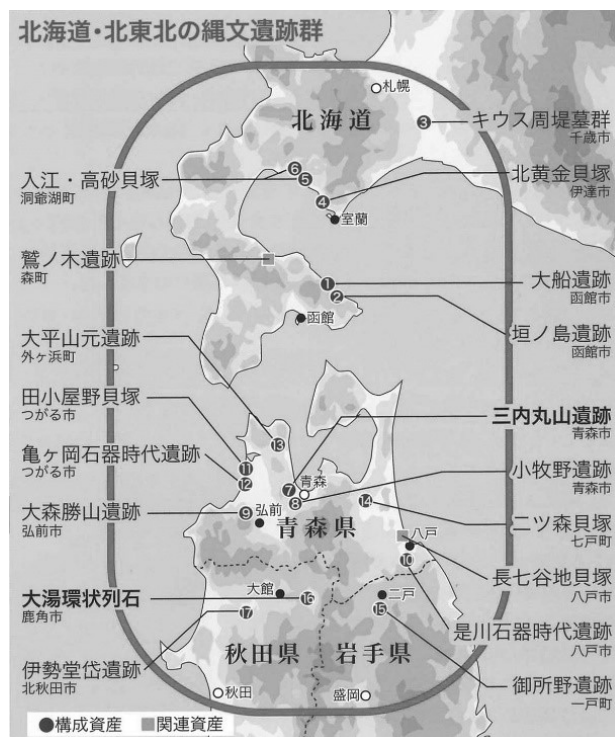
■「北海道・北東北の縄文遺跡群」

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、定住の始まりから社会の成熟した様子や人々の生業などの生活跡の実態を示す遺跡（集落跡、貝塚、低湿地遺跡）と、精神文化の発展や充実を示す記念物（環状列石、周堤墓）など17遺跡で構成されています。

その立地は海岸部、丘陵地帯、湖沼・河川流域などさまざまで、多様な地理的環境のもとで自然に大きな負荷を与えず、持続可能な土地利用を工夫し巧みに環境に適応した姿を示しています。

また、北海道南部と北東北では、津軽海峡を挟みながらも縄文時代全般を通じて同一の文化圏が形成されました。「津軽海峡文化圏」とも呼ばれるこの地域には、世界最古級の土器や漆器が出土したほか、大規模環状列石や土偶など、精神性・芸術性豊かな遺構や遺物が集中的に分布しています。

本遺跡群は、先史時代における農耕を伴わない狩猟・漁労・採集による定住社会および複雑な精神文化や、定住社会の発展段階や環境変化への適応を示していることが評価され、世界遺産に登録されました。



「北海道・北東北の縄文遺跡群」パンフレットより転載

■函館市の構成資産

▷史跡垣ノ島遺跡

史跡垣ノ島遺跡は、紀元前7,000～紀元前1,000年の約6,000年間という長期にわたる定住を示す、太平洋をのぞむ段丘上に立地する縄文時代の集落跡です。その中でも定住開始期の段階ですでに居住域と墓域で構成される集落がつくられていたことがわかっており、さらに国内最大級の盛り土遺構や、墓に副葬された足形付土版など、当時の高い技術や精神性を示す貴重な遺構や遺物が数多く見つかっています。2000年以降の発掘調査の結果、縄文集落の長期的な変遷を示す重要な遺跡として、2011年に国の史跡に指定されました。



- 所在地 白尻町416番地4
- 供用時間 4月～10月 午前9時～午後5時
11月～3月 午前9時～午後4時
- 休日 12月29日～1月3日
- 利用料 無料
- 定時解説 午前10時、午後1時、午後3時
(各回45分程度)
- 発掘体験 午前11時、午後2時(各回45分程度)
- ※ 冬期間(11月～3月)の定時解説、発掘体験や詳細等については、下記にお問合せください。

▷史跡大船遺跡

史跡大船遺跡は、紀元前3,500～紀元前2,000年の約1,500年間にわたって営まれた、太平洋をのぞむ段丘上に立地する縄文時代の拠点集落です。ほかの遺跡に比べて、床を深く掘り込んだ竪穴建物が特徴的で、中には深さ2mを超える大型のものもみつかっています。1996年以降の発掘調査の結果、沿岸地域における生業と精神文化を示す重要な遺跡として、2001年に国の史跡に指定されました。



- 所在地 大船町575番地1
- 供用時間 4月～10月 午前9時～午後5時
11月～3月 午前9時～午後4時
- 休日 12月29日～1月3日
- 利用料 無料
- 定時解説 午前10時、午後1時(各回30分程度)
- ※ 冬期間(11月～3月)の定時解説や詳細等については、下記にお問合せください。

お問合せ ▷世界遺産に関すること 文化財課 ☎21-3472
▷遺跡案内に関すること 縄文文化交流センター ☎25-2030

HP

「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録記念事業 JOMON WEEK in HAKODATE

縄文遺跡群の世界遺産登録を記念して、各団体とともに10月9日(土)～17日(日)まで講演会やシンポジウム、トークセッション、展示会など多彩なイベントを開催します。詳しくは市のHPでご確認ください。

📄<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2017122200063/>

■講演会「世界遺産への道をたどる夕べ」(教育委員会主管)

日時・会場 10月13日(水) 午後7時～9時・旧函館区公会堂(元町11番13号)

▷演題 「函館の縄文が世界遺産になった!～『北海道・北東北の縄文遺跡群』の価値と意義～」

講師 菊池 徹夫氏(早稲田大学名誉教授・縄文遺跡群世界遺産登録専門家委員会委員長)

▷演題 「世界遺産登録の舞台裏」

講師 鈴木 地平氏(文化庁文化資源活用課文化遺産国際協力室調査官)

定員 100人(入場順)

※ 駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

お問合せ 文化財課 ☎21-3472